



電気柵による侵入防止対策の普及

～イノシシ・シカ被害防止対策～

被害が増加していた昭和村において、侵入防止柵の普及を目的に現地研修会を開催して電気柵の正しい設置方法の習得やその効果を広く周知したところ、補助事業等の活用により広域的な電気柵の設置が推進できた。

市町村	昭和村		
地区	大河原		
集落戸数	78戸	農家戸数	29戸
農地面積	9,173a		
主な作目	トウモロコシ、レタス、ハクサイ、コンニャク等		
加害獣種	イノシシ、シカ、ハクビシン、クマ、カモシカ		



背景

トウモロコシ・レタス等露地野菜の盛んな地域であるが、イノシシ・シカを中心とした大型獣の被害が年々深刻化していた。

そこで大型獣の侵入防止対策を図るため、交付金事業等を活用した広域的な電気柵の設置を推進する必要がある。

事業内容

【主な取組】

- ◆ 侵入防止柵の効果検証
- ◆ 電気柵の設置・管理に関する研修会の実施
- ◆ センサーカメラによる出没調査の実施

【取組経過】

H22年 7月 電気柵実証圃の設置及び現地研修会
8月 センサーカメラ設置
～11月

成果

実証圃の設置により電気柵の効果が地域に周知され、交付金事業を活用して広域的電気柵が整備できた。

地区代表者 コメント

電気柵の効果が大きいことが実感できた。
 今後は、広域的電気柵の管理体制を整えていく必要がある。



カメラ調査により加害獣種、出没頻度を調査



事後評価

指標	A	B	C	D
被害	減った (5-10割)	減った (-5割)	変わらない	増えた
出没	減った (5-10割)	減った (-5割)	変わらない	増えた
集落環境	改善した	やや改善した	変わらない	悪くなった
集落ぐるみの取組	出来ている	概ね出来ている	一部出来ている	出来ていない
対策実施	よく実施している	概ね実施している	一部実施している	実施していない
波及性	波及した	概ね波及した	一部波及した	波及していない
効果の実感	満足	やや満足	やや不満	不満

センター評価

広域的な電気柵や金網柵が整備され、守る対策が推進された。
 一方、設置後の管理については取り決めが充分でないことから、集落内で話し合い、維持管理体制を整える必要がある。

課題

非農家の理解・協力のもと、長距離電気柵の維持管理体制を整備する必要がある。